

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：北村 雅昭 作成日：2025年11月7日

1. 教育の責任

学修活動を通じて、地域や社会の持続的な発展に貢献できる人材、自分らしいリーダーシップを発揮できる人材、自分らしいキャリアを主体的に歩むことができる人材を育成する。

「キャリアデザインⅢ、Ⅳ」（春秋学期、2単位×2、2年生24人）、経営学の扉（春1コマ、秋1コマ）

「アントレプレナーシップ入門」（春学期、2単位、120人）、「組織行動論」（秋学期、2単位、100人）

「飲食店の起業を学ぶ」（サマースクール、2単位、20人）、「ゼミナールⅢ、Ⅳ」（春秋学期、2単位、15人）

2. 教育の理念

学修活動において、①基礎的な知識と知識を生み出す思考様式(Knowing)、②コミュニケーションやリーダーシップといったコンピテンシー(Doing)、③自分らしいキャリアの軸 (Being) をバランスよく身につけられるよう指導する。

3. 教育の方法

(教員としての目標)

- ・知識や技術の伝達方法 分かりやすい事例で説明する。知のフロンティアに触れさせる。知識伝達だけでなく、実践と内省を促す。
- ・学生との接し方 問いかけを行う。インタラクティブティーチング。演習をとり入れた PBL
- ・自らの専門分野における教員としての成長や発展 研究活動に継続的に取り組み、論文や書籍を執筆する。

(学生に求めること、学生に対する期待)

- ・学生の専門能力の向上 基礎的な概念を理解した上で、理論、実践、内省のサイクルを回す。
- ・学生の人間的成長 実践と内省(1 on 1 面談)を通じて、自分の価値観、使命、強みへの理解を深める。

(教育実践)

- ・シラバス 科目ごとに作成し、el-campus に掲載。
- ・課題、試験 主にレポートや、プレゼンの成果を評価。組織行動論は小テスト形式で理解度確認。
- ・教科書の選定、テキスト 組織行動論のみ教科書を指定。それ以外はプリント配付。
- ・学習方法 グループワークによる課題解決やその中のリーダーシップの涵養を重視。
- ・双方向的な学習 リフレクションシートに授業の振り返りを書き込ませ、フィードバックを行う。
- ・Web の利用 同上
- ・講義スタイル 対面による講義、演習

4. 教育の成果

学生からの授業評価アンケートにおいて、満足できるレベルの評価を得ることができた。

5. 改善への努力と今後の目標

・キャリアデザインⅢ、Ⅳについては、学生が自己肯定感を高められるよう、ポジティブフィードバックの頻度を増やすとともに、1on1 面談や自己紹介エッセイの作成を通じて、学生自身が自分の強みを発見することを支援した。今後、継続的に改善する。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：北村 雅昭 作成日：2025年11月7日

- ・アントレプレナーシップ入門は、具体的な新サービス開発の事例に取り組みさせることで、アイデア検証の重要性を学んだ。引き続き、具体的な商品・サービスの企画とその検証を通じて、アイデア検証の重要性を学ばせたい。
- ・組織行動論については、理論面の説明を重視するとともに、企業の現実的な課題に触れさせることで、経営現象についての理解を深めた。今後は、理論を実社会で応用する力を高めたい。
- ・飲食店の起業を学ぶについては、数字について弱さが見られたので、コストや収支に関わる説明を工夫したい。
- ・ゼミナールⅢ、Ⅳでは、企業の協力を得たインタビュー調査と質的分析により、実社会の現実への理解を深めることができた。今後は、アンケートなど定量的な手法による量的調査についても取り組ませたい。

【添付資料】

- ・シラバス